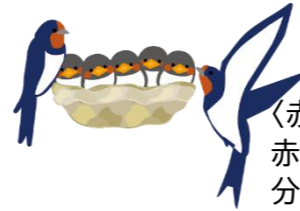




# 石っ子通信



## 絵本の選び方～どれにすればいいのかな～

絵本の選び方のポイントについて、年齢別にご紹介します。



### 〈赤ちゃん絵本〉

赤ちゃんは、生後10カ月を過ぎるようになると、大人の言葉を聞きながら、絵本の世界に入っていきけるようになります。分かりやすいシンプルな絵で、色合いもはっきりとしているものがおすすめです。無理に始めから終わりまで読み聞かせようとせず、「赤ちゃんとお遊ぼうよ」と読むことがポイントです。

おすすめ絵本・・・「くだもの」 平山和子(作)  
「ごぶごぶ ごぼごぼ」 駒形 克己(作)  
「おつきさま こんばんは」 林 明子(作)



### 〈2～3歳〉

この頃になると日常生活体験が積み重なり、他者への関心が強くなってきます。自分と似ているものを喜んだり、絵本に出てくるものを真似したりするので、くり返しのストーリーで構成されているものがおすすめです。

おすすめ絵本・・・「きんぎょがにげた」 五味 太郎  
「おおきなかぶ」 A.トルストイ再話 内田 莉紗子(訳) 佐藤 忠良(画)  
「どうすれば いいのかな」 渡辺 茂男(文) 大友 康夫(絵)



### 〈4歳〉

子どもの好みもはっきりしてきて、絵本選びが難しくなるころです。内容は物語絵本が主になってきます。

おすすめ絵本・・・「ぐるんぱのようちえん」 西内 ミナミ(作) 堀内 誠一(絵)  
「どろんこハリー」 ジーンジオン マーガレット・ブロイ・グレアム(絵) 渡辺 茂男(訳)



### 〈5・6歳〉

絵本体験を積み重ねてくると、長い物語を毎日少しずつ読んでもらうことも楽しめるようになります。

おすすめ絵本・・・「エルマーのぼうけん」 ルース・スタイルス・ガネット(作)  
ルース・クリスマン・ガネット(絵) 渡辺 茂男(訳)  
「いやいやえん」 中川 季枝子(作) 大村 百合子(絵)



社会福祉法人  
石井手保育園  
R7.4.1 発行

住所：〒756-0088 山陽小野田市大字東高泊333番地

Tell：0836-83-8375

Fax：0836-83-8374

Mail：ishiide.h@ninus.ocn.ne.jp

☑  
4月1日。新年度のスタートです。

進級・入園する子どもたちは、新しい生活に期待を膨らませていることでしょう。その反面、子どもたちだけでなくお父さん・お母さんも不安を感じていることだと思います。少しでも不安をとりのぞいていけるよう、子どもたちやお父さん、お母さんに寄り添いながら日々過ごしていきたいと思ひます。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

## 石井手保育園ってどんなところ？

### くう・ねる・あそぶ 保育方針

「くう・ねる・あそぶ」を考え「あるく・つくる・くらす」を大切に、五感の強化を図り、「自分らしさは宝物」という一人ひとりの個性を大切に育てていきます。遊びを重視し、意欲的に活動する心が湧くような環境づくりと保育援助を行います。

### 保育目標

- ☆元気…自然を愛し、四季の移り変わりを感じ、のびのびと太陽に向かって生きる子どもに育てます。
- ☆優しく…いたわりの心を持ち、他人の悲しみが分かる子どもに育てます。
- ☆創る…創造し、明日に向かって生きる力と喜びを持つ子どもに育てます。

### 石井手保育園 子育て支援

#### ◎育児相談(電話相談、面接相談)

月～金曜日 10:00～16:00

- ※面接を希望される方は事前に予約を頂いて受け付けています。
- ※どちらも園の行事や都合で受けられないこともあります。

#### ◎図書の貸し出し

月～金曜日 12:00～13:00

- ※絵本を大切に扱うため、本を入れる袋を持ってきてください。
- 在園児の方は毎週木曜日に借りられます。(返却は火曜日です)
- 当園ではこのような活動を行っています。
- 「こんなこと…」と思うようなことでも大丈夫です。
- お気軽に来られますか？



## ほめて子どもを伸ばそう!!～上手な褒め方・叱り方～

褒められて嫌な気持ちになる人はいないように、子どもたちも褒められるとやはり嬉しいものです。褒めた後の反応は様々ですが、褒めることで子ども自身の自信につながり、やる気もアップします。でも、褒めること…って意外とどんな風に言えばいいのか、褒めたのに子どもには伝わってなかったりと難しいのではないのでしょうか？  
上手な褒め方としては、まずは良い行動の直後に褒めることが大切です。そして、子どもに分かる表現で伝えてあげましょう。「できたね」「頑張ったね」「ありがとう」などストレートな表現が伝わりやすいです。  
💡上手な褒め方:行動の直後(60秒ルール)+分かりやすい言葉  
しかしながら、どうしても叱らなければいけない場面も、多くありますよね。  
何度言ってもいうことを聞かないと、何度も叱ることになってだんだんと強く言わなければいけない…そんな状況ありますよね。  
叱る時には、「短い時間でコンパクトに」が基本です。そして、感情的になりすぎない。  
長い時間叱っても、子どもは怖いお母さんの顔が頭に残り、なぜ叱られているのかわからなくなってきます。  
叱られた後に良い行動ができたなら、必ず褒めることが重要です。  
例えば、部屋の中を走り回る→「部屋の中は歩いてね」 → できたね。よくできたね」と最後は褒めることで終わらしましょう。